No.29

京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS

京都外国語大学校友会

No.29
ALUMNI NEWS

CONTENTS

01 会長挨拶　京都外国語大学校友会 会長　坂本利正
02 総長挨拶　学校法人 京都外国語大学 理事長・総長　森田嘉一
03 支部設立総会　福井支部
04 兵庫支部
05 寄稿文　中澤明子
06 福　富美子
07 現役からのメッセージ
07 英米語学科／スペイン語学科／フランス語学科
08 ドイツ語学科／ブラジルポルトガル語学科／イタリア語学科／国際教養学科
09 支部・クラブ・学科OB会だより
09 徳島支部／福岡支部／京滋支部／高知支部
10 和歌山支部／富山支部／教志会／Hat's就職セミナー
11 韓国支部／EU支部／メキシコ支部
12 ブラジル支部／上海支部／硬式庭球部／アメリカ民謡研究会
13 アメリカンフットボール部／少林寺拳法部／能楽部
14 卓球部／自然科学研究会／海外事情研究会
15 貿易研究会／ローターアクトクラブ／スペイン語学科
16 平成25年度　校友会事業報告、会計報告
17 平成26年度　校友会事業計画／クラブ・学科OB会

京都写真散策 KYOTO PHOTO WALK

写真・文
アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

「半世紀ぶりの山鉾巡行」

表紙：南観音山

なんといっても京都の夏祭りといえば祇園祭である。
歴史は古く、その起源は平安時代前期、京の町に流行った疫病を鎮めるために行われたという。発生以来すでに1100年もの歴史を有する。
祭は鉾建てからはじまって14日～16日の宵山、そして17日の山鉾巡行で終わると思いがちであるが、本来吉符入りからはじまり還幸祭まで約1ヶ月行事が続く。
また山鉾巡行は元来前祭りと後祭りの2回に分けて行われていたが、1966年以来途絶えていた。
今年からまた前祭と後祭の形に復することに決まり、17日と24日の2回山鉾巡行が行われることに決まった。約半世紀ぶりの復活である。
それに加え大船鉾が復元され巡行に花を添える。
今年の夏、京都の町はより一層熱くなりそうで楽しみである。

MESSAGE from Toshimasa Sakamoto

母校とは常に車の両輪の如く

京都外国語大学校友会
会　長　坂本　利正

会員の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げますとともに、本校友会活動へのご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

本年度も学部９学科、大学院、短期大学の卒業生1,071名がこぞって新たに校友会員として仲間入りをいただきました。一方、この春の新入学者も1,150名を数え、深刻な少子化が社会的課題となっているなかにあっても、母校である本学が安定した経営を維持されておられることは何よりも嬉しいことであり、理事長・総長森田嘉一先生はじめ教職員の皆様のご努力の賜物と深く感謝いたしております。

また、本学は昨年度「5ヶ年計画」を策定され、松田武学長のもと「高等教育の質の保証、本学の特色を活かした研究の推進、学生支援体制の強化など」多岐にわたる施策によって、グローバルな次世代リーダーの育成という社会的要請に応えるべく力強く歩み出されました。

本会といたしましても、卒業生の就職支援の活動並びに学生の募集、さらに留学生や外国籍学生との交流・支援などに協力できる環境が年々高まってきていることから、大学とよく連携し、会員の皆様のご協力をいただきながらさらに効果的な活動を展開してまいりたいと考えております。

ところで、会員の皆様が、豊かな国際感覚と不撓不屈の精神を胸に、本学の卒業生であるという誇りをもって、国内はもとより世界の各所で活躍されている様を見聞きする度に、この上ない喜びを覚えます。本会報誌は、それら会員のご活躍の一コマと、内外各支部や学科・クラブＯＢ会の活動、それに会務の動きなどを、毎年会員の皆様にお届けしており、楽しくご覧いただければ幸いでございます。そして、ご住所など連絡先の変更が生じた折には、是非本会事務局にお知らせくださるようお願い申し上げます。

さてこの度、本会は組織体制の強化とより円滑な運営を図るため、会則の一部を改正し、補充役員の任命と新しい常任幹事及び監査役の委嘱を行いました。本部役員と常任幹事が本会運営にあたる体制に変更はありませんが、常に世代交代と新陳代謝を図りながら、会員の皆様の絆と母校愛がますます深まりますよう努めてまいりますので、一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

留学生奨学金授与式

→ MESSAGE from Yoshikazu Morita

十年栽樹
百年育人

学校法人　京都外国語大学
理事長・総長　森田　嘉一

まずもって、校友会会員皆様の母校への変わらぬご厚情にたいし、心から感謝申し上げます。これからも引き続き、本学園発展のため、より一層のご理解とご協力を賜りたく存じます。併せて、校友会の尚一層のご繁栄並びに会員皆様のご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

おかげさまで本学園は、1947年の建学以来、先見的かつ普遍的な建学の精神、Pax Mundi Per Linguasのもと、幾多もの風雪を経て、今日のグローバル化する国際社会の中で通用する有為の人材を輩出してまいりました。これからも引き続いて、社会が必要とする視野の広いコスモポリタンを目指して、世界を見つめる心を兼ね備えた人材育成にチャレンジしてまいります。一層のご理解とご協力を賜りたく存じます。

「国のかたちが変わろうとしている」「政治に声が届かない」など、駆け足で進む政治・経済にたいしての不安やもどかしさが広がっています。現下の教育界にあっても、「教育再生」「教育維新」と声高に叫ばれておりますが、根本的なテーマを多く抱えていることもあって、答えは一つではあり得ず、政治・経済同様、混迷度を増しているのが現状であります。近道なんかあり得ないと分かっていても、人は性急に出口を捜してしまいます。政治、経済、社会、教育等、人は安易に答えを求めてしまう傾向にあり、私は危うさを感じています。自分の頭で考えて仮説をたて、試行錯誤しながら解決方法を探していく、回り道であっても労を厭わない、そんな本質的な人づくりこそ、現代の教育機関に求められている使命であると、私は考えているからであります。

人を育てることは簡単なことではありません。中国の故事に、「十年栽樹　百年育人」という言葉があり、一日を楽しみたい人は花を活けなさい。十年後を楽しみたい人は木を植えなさい。百年後を楽しみたい人は人を育てなさいと言っています。あしたが見えない、混迷深まるとき、背中を押してくれる言葉の一つとして、この言葉を私はこれからも大切にしていきたいと思っています。

皆様の活躍は母校の発展の証しであり、母校の発展はまた卒業生の誇りとなるものであります。校友会会員皆様の今後のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

スペイン外務大臣（右から2人目）とともに

福井支部設立総会

支部長　中野多郎右エ門
（S44年度英米語学科）

「福井支部」は、平成25年8月11日に誕生しました。11月15日には、顧問の重房観修先生にもご出席いただき、第1回役員会を開催し、決算報告、事業計画について話し合いをしました。（詳細は、校友会ホームページをご参照ください）

今年が支部として活動1年目の年です。他の校友会支部の活動内容も参考にしながら会員同士の親睦を第一に考え、外大で学んだ語学力を活かして福井の地域に溶け込んだユニークな支部活動を展開していきたいと考えています。

現在、福井県内には国際交流を推進するための団体「福井県国際交流協会」があり、57団体が加入しています。この会を通して多くの人たちが様々な国際交流や国際親善に取り組んでいます。福井支部もこの協会に加入して他の団体と協力しながら京都外大らしい国際交流活動と国際親善のお手伝いをしたいと思います。

「福井県国際交流協会」では、毎年10月下旬に国際交流関係団体と県内に住む外国人が一緒になって国際交流、多文化理解の促進をめざした「国際交流フェスティバル」を開催されています。福井支部も、まずはこのイベントに参加したいと考えています。校友会福井支部の皆さんにも参加していただきますが、現役の外大生にも参加いただき、国際交流のお手伝いができれば幸いです。

何はともあれ、福井支部はスタートしたばかりです。試行錯誤しながら校友会員の皆様と力を合わせて色々な活動を展開していきたいと考えています。

各支部の皆様、スタートしたばかりの「福井支部」をよろしくお願いいたします。

兵庫支部設立総会

いままで兵庫県在住者は大阪支部にお世話になっていましたが、この度、校友会本部ならびに大阪支部のご理解で、兵庫支部として独立する運びとなりました。

平成24年9月より幹事団が集まり、総会に向けて色々な事項を検討し、議論を積み重ねてまいりました。

平成25年11月17日(日)、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、校友会坂本利正会長と役員の皆様、森田嘉一理事長・総長と大学関係者の皆様、大阪、和歌山、福井各支部の皆様と総勢80余名のご出席のもとに、設立総会・懇親会を開催しました。

総会では、設立に至る経過報告に始まり、世話人紹介、仮議長就任、審議・議決、支部長就任挨拶、本年度の運営方針、と進み予定通りに閉会。

続く懇親会では松下支部長挨拶、ご来賓の坂本会長や森田嘉一理事長・総長のご祝辞、昭和24年度卒土肥先輩のご発声で乾杯、歓談に入り、大阪、福井、和歌山各支部代表者挨拶、などなど和やかな懇親と交流の場を持つことができました。

京都外国語大学校友会兵庫支部は、港町神戸の突堤の先端にあるホテルから無事船出をいたしましたが、今後は同じ学校で学んだ仲間として「親睦と和」をモットーとして、地に足の着いた校友会活動を、役員一同力を合わせていく所存でございます。

先輩支部の皆様もどうかご支援のほどお願い申し上げます。

また年に1度は兵庫支部の集まりを実施しますので、兵庫県の皆様はご案内が届けば、是非ご参集ください。

支部長　松下　衛
（S38年度英米語学科）

第2回　兵庫支部総会・懇親会
平成26年11月9日（日）　14：00～
場所：神戸メリケンパークオリエンタルホテル

寄稿文 Meiko Nakazawa

英語塾経営から医療・福祉経営へ

中澤　明子
s40 年度英米語学科

2013年11月に開催されたESS設立60周年記念パーティーで、お世話になった先輩方に数十年ぶりにお会いすることができました。本当に懐かしく、嬉しいひと時でした。

1966年に英米語学科を卒業後、私は故郷に帰り、日中は花嫁修業をしていましたが、夕方以降が暇なので、英語塾を主宰することにしました。先輩の一人が夏休みの合宿に手伝いに来てくださり、ユニークな英語教育だと評価されていました。50名ほどの生徒を教えていましたが、医師と結婚することになり、塾は高校時代の同級生にお願いしました。

34歳の時に夫が開業することになり、夫は診療に専念、医師でなくてもできることは私がする、という方針で、これまでやってきました。診療と経営を分離し、車の両輪で35年余り頑張ってきた結果、現在、事業所数は大小合わせて約30ヶ所、職員は合計700名程になっています。現在、２つの大規模事業プロジェクトが進行中です。

事業体としては、医療法人仁医会と社会福祉法人せんねん村が２つの核であり、子会社が２社あります。２つの核法人が地域になくてはならない保健・医療・介護・福祉事業を展開しています。

私の経営姿勢は常に西尾地域に必要とされるサービスの創造であり、事業拡大のために他地域に進出するということは考えておりません。育った西尾が好きですし、まだまだ足りないサービスも多く、福祉のまちとは言い難いのです。他の法人が手を出そうとしないことを手掛けるのが好きです。

医療と高齢者福祉だけでなく、障害児保育や児童クラブなど、こどもをもった女性が安心して働けるまちづくりを目指しています。

2025年高齢者問題への対応のために計画されている地域包括ケアシステムよりも一歩進んだ、こどもや障害児・者も含む地域包括ケアシステムの構築が目標です。

PROFILE ／中澤明子（なかざわ・めいこ）

1943年　満州国新京特別市（現長春）にて誕生
1962年　愛知県立西尾高等学校卒業
1966年　京都外国語大学英米語学科卒業
1977年　中澤整形外科事業専従者
1982年　愛知大学大学院経営学科聴講生
1984年　同上修了
1986年　藤田学園保健衛生大学医学部医用電子処理学部門研究生（病院管理学専攻）
1996年　同上修了
2005年　日本福祉大学大学院博士課程情報・経営開発科入学
2006年　認知症ケアマッピング、ベーシックケアマッパー資格取得
2007年　日本福祉大学大学院博士課程前期課程情報・経営開発科修了。修士号取得。
2007年　認知症ケア専門士資格取得
2008年　認知症ケアマッピング上級マッパー資格取得
現　在　特定医療法人仁医会専務理事
　　社会福祉法人せんねん村総合施設長
役職等　愛知県医療法人協会常任理事
　　一般社団法人これからの福祉と医療を実践する会理事長
　　一般社団法人日本ユニットケア推進センター理事
　　一般社団法人介護福祉経営人材教育協会理事

寄稿文　Fumiko Fuku

一流の翻訳会社を目指して

福　富美子
s55 年度英米語学科

●会社紹介

私は、1988年に株式会社アルビスを設立いたしました。翻訳サービスの会社です。当時は単身でビジネスを始めるという女性ビジネスパーソンは稀有な存在だったかもしれません。

今年で27年目に入り、東京、大阪、福岡の3拠点で50人のスタッフ、世界中で300人の翻訳者のネットワークを構築しております。取扱分野は、家電・自動車等の海外向け取扱説明書の30ヶ国語翻訳、10名の獣医師の学術スタッフがハンドルする動物用医薬品関連翻訳・コンサルティング業務です。嬉しいことに京都外大卒業生も在籍しております。

●京都外大で学んだこと

大学時代の思い出は、本当に数多くあります。

今は亡き、小谷先生がウクレレを片手に、英語の歌やアメリカ文化の授業をされ、英語ってこんなに楽しく学べるものだと実感。また、京都外大の教授になられた倉田誠先生がリーダーで、1978年にアメリカのフレンドシップツアーに参加し、異文化の中でどうコミュニケーションをとっていくか、はたして自分はアメリカで通用するのか、など深く考えさせられました。これからは、日本だけにとどまらず、世界に向けて仕事をするのだという決心がつきました。今の仕事につながる明確な目標ができたのは、このおかげです。

田中四郎先生ゼミ旅行（伊勢）　後列左から2番目

●一流の翻訳会社を目指して

「翻訳」の仕事は、一般的に語学力（技術）のみがクローズアップされますが、「理解力」も高品質の仕事には重要です。「翻訳」は基本的にはサービス業であり、お客様の性格や意向を的確に上手に掴み、心の底を読み取らねばなりません。これは、お客様との信頼関係の上に築かれるコミュニケーション力を意味します。一流になるには、遠い道のりですが、社員ともどもクオリティー重視のサービス業に徹して頑張っていきたいと思います。

また、語学を操る京都外大の後輩が、真の「理解力」を発揮して世界中で活躍してくれるのを願ってやみません。

PROFILE／福　富美子（ふく・ふみこ）

1980年　英米語学科卒業
　　1部上場食品会社の社長秘書を経て
1988年　株式会社アルビス設立
・翻訳（機械・自動車・家電、コンピュータ・医学）の世界30ヶ国語翻訳
・語学堪能な獣医師による獣医関連コンサルタント業務
・ホームページhttp://www.alvis.co.jp

現役からのメッセージ

Message

高階　寛幸

（英米語学科　４年次生）

最近の英米語学科を特徴付ける活動を報告します。

2010年に学生同士が互いに協力し合う団体 “Peer Support Community”が立ち上がりました。英米語学科では、新入生の学外オリエンテーションのプログラムを企画したり、履修登録の相談を行ったりして新入生の大学生活がスムーズに始められるよう支援を行っています。また、英語力向上の秘訣、派遣留学獲得戦略法、長期休暇の過ごし方、就職活動最前線など、先輩の話を聞く会を作り、学生の目線で互いに刺激し合えるサポート体制を目指しています。

また、2011年からキャンパスの国際化を目指したナショナル・ウィークが始まり、British Week 2011、American Week 2012、Australia Week 2013 を重ねてきました。Australia Weekでは、アボリジニ楽器「ディジュリジュ」コンサート、カンガルーやワニ肉のBBQ、ブーメラン講習会、オーストラリア出身のお笑い芸人トークショーなど、オーストラリア一色でキャンパス内を彩ってみました。

ピアサポート活動、ナショナル・ウィークを通して英米語学科の学生活動がさらに充実したものとなるよう頑張ります。

Message

田中　琴菜

（スペイン語学科　３年次生）

●第２回全国学生フラメンコ大会

2013年12月1日（日）、京都外国語大学・森田記念講堂にて開催しました。私たちは毎年、志摩スペイン村のフラメンココンテストに参加していましたが、

2011年にこのコンテストが終了し、日本での大会が無くなりました。そこで各方面より多くのご支援を賜り、京都外国語大学に於いて、2012年より全国学生フラメンコ大会を開催させていただくことができました。

私たちは第１回大会で優勝、今大会では準優勝しました。次の大会では優勝を目指して頑張りたいと思います。

今後はさらに活動の場を広げ、より多くの人にフラメンコの魅力を感じてもらえるよう努力して参りますので、温かく見守っていただければ幸いです。

Message

坂井　稜介

（フランス語学科　h25年度卒）

自分が人生の岐路に立つ時に、これまでのことを振り返る癖は、誰もが持っているものだと思います。

フランス語を勉強し、ヨーロッパや東南アジアを一人旅し、ベルギーに１年間留学したりと、この４年間の経験で自分の世界が広がった気がします。

これからは一社会人として新しい世界で生きていきますが、同じ気持ちを持った仲間がいるのだと思うと、ほんの少し安心します。そして、この４年間を支えてくれた両親、友人、先生方、職員の皆様そして校友会の先輩方には本当に感謝しています。

自分の轍を改めて眺めると、とてもいい出会いがあり、幸運に恵まれていたのだと感じています。この場をお借りしまして、すべての方へ。ありがとうございました。

Message

西　英理子

（ドイツ語学科 h25年度卒）

思えば、私の京都外国語大学での学生生活は、夢を追い続けた４年間でした。

夢とは、旅行社に就き添乗員として働くことです。外大ではそんな夢に近付ける機会に恵まれました。ドイツ語の学習もさることながら、２回生の時には、プロジェクト科目で添乗員資格が修得できる研修に参加し、３回生の時には海外インターンシップの枠で、ドイツ・フランクフルトの旅行会社で就業体験をしました。夢の就業には、どんな「責任感」が伴うのか…それを強く肌で感じた経験となりました。

これらの貴重な経験を就職活動に活かし、ついに添乗員として内定をいただきました。

今後は、外大での４年間を胸に、『京都外大から世界へ』羽ばたき、活躍していきたいです。

Message

小西　航矢

（ブラジルポルトガル語学科 ４年次生）

２年次終了時にブラジルに行き、１年間、日本企業のブラジル支社で企業研修をさせていただく機会を得ました。ブラジルは土地も人びとの心も大きかったです。バスで片道８時間かけて、サンパウロ州の地方都市の市役所を訪問し、市長や市会議員の方々の会議に参加しました。片道16時間の内陸部の町にたこ焼きを教えに行ったこともあります。

帰国後、外大のブラジル人の先生や留学生との交流、また滋賀にあるブラジル人学校を訪問し、大学と大学外でポルトガル語と異文化理解力の向上に日々励んでいます。就職活動中ですが、ブラジルでの経験と外大で学んだことが企業に評価されています。外大生であるという誇りを持って頑張ります。

Message

杉本　晴香

（イタリア語学科 ３年次生）

先輩方へのメッセージを送る機会を得、心より光栄に存じます。私も入学して早２年の月日が過ぎました。学生生活を通じて、特に感じるのは、これまで先輩方に生み出していただいた数多くの歴史があるということとそれらを我々世代が後輩らに伝統として受け継いでいるということです。

いつ立ち寄っても何か温かいものを感じる、そんなキャンパスが、京都外国語大学ではないでしょうか。

建学の精神である『言語を通じて世界に平和を』届けることのできるよう、伝統を守り続けつつ、新たに発信することも大切だと考えています。卒業後いつかキャンパスに戻って来た際に、アットホームだなぁと言えるように。そう、ここは永遠に母校だから。

Message

北嶋亜理沙

（国際教養学科　h25年度卒）

国際教養学科の１期生として入学した当初は、大学生になる喜びよりも学科の先輩がいない不安の方が大きかったです。しかし、この漠然とした不安を楽しみに変えてくれたのが、新設学科だからこそできる「新しい挑戦」でした。私の新しい挑戦として、セブ島でのボランティア活動に参加しました。現地の方との交流を通して学んだのは、人の笑顔を見ることは自分自身の喜びにも繋がっているということです。

前列右から４人目

この経験から、直接お客様のお顔を見ることができる接客業に就職することを決め、無事内定をいただきました。今後はお世話になった先生方、家族、友人すべての方に、私から笑顔をお返ししていきますので、皆さん楽しみに待っていてくださいね。

徳島支部

支部長　野村誠也　s48年度英米語学科

第21回支部総会の締めくくりは、恒例の「外大連」。懇親会会場に躍り込んだ「藝茶楽連」福田連長のユーモラスな指導で、初参加者もアッという間に、踊りのベテランの仲間入り。

演舞場の両サイドの桟敷席を埋めている約1000人の観客からの拍手や声援に、何とも嬉しいやら恥ずかしいやらの体験をしました。

阿波踊りは例年8月12日～14日の4日間開催されます。今年も8月14日、皆様もぜひご一緒に「踊る阿呆に、見る阿呆」を体験しませんか？

福岡支部

支部長　小林利夫　s56年度英米語学科

今回は、福岡でもワインと本格フレンチが楽しめる「ワールドオブワインズヨシヤ」で総会・懇親会を開催しました。

坂本校友会会長、下村副学長を始め京都から参加の皆様から卒業後の大学の現状なども伺うことができました。

卒業生では、転勤で福岡在住の方、北九州からの方、地元福岡に戻られた方など、毎回新しい顔ぶれを迎えての、楽しいひと時でした。2年後の出会いをまた楽しみにしています。

京滋支部

副支部長　梅澤昌嗣　s56年度フランス語学科

平成26年4月19日、京滋支部恒例、春の文化講座をからすま京都ホテルにて行いました。

今回の講演は、株式会社京都ニュートロニクス代表取締役亀井敬史氏による「トリウム原子力発電の現状と見通し」という題目で行われました。

原子力発電所の再稼働が政治的論点となっている昨今の状況にふさわしい内容の話を分かりやすく解説していただきました。

講演後の食事会も和やかな雰囲気で、あっという間に終わりの時間となりました。

高知支部

支部長　紫岡和生　s48年度英米語学科

平成10年2月の支部設立以来、隔年ごとに支部総会・懇親会を開催して回を重ね、今年の5月には第9回を催すことができました。

活動としては他にも支部役員・相談役一同から年賀状を会員に毎年届けています。

また、支部役員会に会員の方にも参加を呼びかけて1月と7月の年2回、会員・役員交流会を催して校友の「和」の「輪」を広げています。

和歌山支部

支部長　佐武正章　s56年度英米語学科

メイン行事の「ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト」が第20回目の記念大会になるので、ケンドリック船長が寄港した串本町の文化センターで、初めて開催しました。町長や教育長も来賓として出席される中、一次審査を通過した小学生と中学生19名が、日頃の学習成果を披露し、約200名の聴衆は、惜しみない拍手を送りました。審査に当たった先生たちのアドバイスを参考に、さらに英語力を磨いてくれることを期待しています。

富山支部

支部長　松平秀人　s40年度英米語学科

8月24日に10周年総会を実施、TVで活躍している髙木奈々さんの名司会で盛り上がりました。民謡あり三味線演奏ありの楽しい出し物に加えて、ビンゴ大会では、富山の郷土名産品が次から次へとプレゼントされて、会は最高潮に。参加者の方から「至れり尽くせりの懇親会で、大変有意義な楽しい時間を持つことができました。ありがとう」との言葉が寄せられ、力を合わせて大成功を収めた役員たちも一安心した次第です。

教志会

会長　田中道博　s48年度英米語学科

今年も母校で英語授業実践報告会・研究会を実施。英米語学科相川真佐夫教授が、日本の英語教育の特徴を分析し、日本と同様に、英語を母語としない台湾での研修体験を踏まえて、英語教育に携わる方々にとって大変有意義な基調講演をしてくださいました。その他、「今どきの中学生を語る」というシンポジウムでも、定時制高校に籍を置く生徒が詠んだ川柳、小中学生の英語力が生き生きと溢れる英語スピーチコンテストの報告も印象深い内容でした。

Hat's就職セミナー

平成25年11月9日（土）、校友会「クラブハッツ」の企画による就職セミナーが開催されました。事前申し込みをキャリアセンターで受付け、約100名の学生が参加しました。ホテル、航空、旅行関係の業界で活躍されている本学のOB・OGからの説明ということもあり、近い距離でのコミュニケーションがとれ、リアルな業界・企業の情報が得られるとともに会社の雰囲気も感じることができたと思います。ほとんどの学生がノートを取りながら、最後まで熱心に説明を聞いていました。

今回の就職セミナーは初めての試みでしたが、参加した学生にとって有意義な時間であり、就職活動に役立つことでしょう。

（大学 キャリアセンター）

韓国支部

支部長　寺井妃呂美　h7年度日本語学科

2013年6月22日、ソウルの中心に位置する南山にある韓定食レストラン「poom seoul」で、韓国支部の第2回総会が開催されました。2012年5月末の立ち上げ総会以来、会員のみなさんとは1年ぶりの再会となりました。土曜日のお昼ということもあって、仕事の都合で来られなかった会員もいましたが、3月に卒業したばかりの韓国人の卒業生が参加するなど新メンバーも加わり、今回は韓国人卒業生9名と日本人卒業生3名の計12名が集まりました。

また、日本からは坂本利正校友会会長、藤井章子副会長、堀川徹志副理事長、日本語学科の長濱拓磨教授、校友会東京支部の本山裕彦支部長にもご参加いただき、合わせて17名で楽しい時間を過ごしました。

「近いうちにまた会いましょう」と次回の開催に期待し別れを惜しみながら、3時間余りの支部会が終わりました。

支部長　寺井妃呂美（h7年度日本語学科）teihiro83@gmail.com

EU支部

白波瀬亜紀　h2年度英米語学科

11月23日、パリ市内のレストランにて外大欧州支部の校友会を開催いたしました。今回集まったのは、ドイツから3名、イギリスから1名、フランスから4名という8名。イギリス在住の方とドイツ在住の方がお知り合いで、偶然の再会という素敵なハプニングもあり、会は和気あいあいと始まりました。

参加者の年齢層も様々でしたが、各自の近況報告や、情報交換などで、話題はつきず、お互い刺激を与え合ったアッという間の2時間半でした。他国からわざわざ飛行機をつかって校友会にご参加いただいた方には、実行委員一同本当に感謝しております。

もう少し連絡を密にできるよう、Facebookで欧州支部のページを作成しましたので、どうぞご覧くださいませ。

https://www.facebook.com/KUFSeurope?ref=hl

EU支部は、毎年秋に懇親会を開く予定です。

各国でお誘い合わせの上、できるだけ多くの方々に参加いただけることを願っています。

支部長　古川秀雄（s45年度フランス語学科）furukawa@emitravel.fr

メキシコ支部

松本美里　h1年度スペイン語学科

2014年2月16日、メキシコシティ・コヨアカン地区にある文化センターの一画のCAFÉにて、ラテン歌手であり作家・エッセイスト・ジャーナリストであり、様々な場で活躍されている八木啓代さん（s59スペイン語学科卒）を囲んでの校友会を開催しました。

八木さんの来墨日程のご都合により、急遽校友会開催決定になったにもかかわらず、7名の方が、遠くはIRAPUATO（イラプアト市、メキシコシティから300kmほど離れている）からも参加してくれました。2月ですが、メキシコシティは既に春めいていて、明るい陽射しのテラスで和やかに4時間程度、皆さん話に花が咲きました。

昨今はイラプアト市を始め、グアナファト州に自動車関連企業を主に多くの日系企業が進出してきており、そういった企業に派遣されてきている人の中には外大卒業生も少なくないということが今回の集まりで分かりました。

支部長　原田　泉（s47年度スペイン語学科）i_harada1011@yahoo.co.jp

ブラジル支部

支部長　狩野知保　h1年度ブラジルポルトガル語学科

現在サンパウロには17名の卒業生がいます。本年度は活動を益々活性化させ、毎月のように有志が集まり、お互いの近況報告、情報交換等を行っております。

ブラジルポルトガル語学科だけでなく、他学科および京都外国語大学・短期大学の現役大学生や卒業生の歓迎会も行っておりますので、サンパウロにいらっしゃる方、これから赴任される方やご家族の皆様など、お気軽にご連絡ください。

支部長　狩野知保（h1年度ブラジルポルトガル語学科）kano.chiho@his-world.com

上海支部

内濱幸恵　h2年度中国語学科

奇数月に開催しております上海支部例会ですが、1月は旧正月の関係でスケジュールの折り合いがつかず開催できなかったので、この3月が今年最初となりました。3月はどうしても帰任される方、日本出張などで出入りが多く忙しい時期であるにもかかわらず、15人が集まりました。今回は邦人向け雑誌「コンシェルジュ」の取材を受けていたので、集合写真を撮ってもらったり、代表のインタビューなど、いつもと少し違う雰囲気の中で4ヶ月ぶりの交流を楽しみました。

支部長　中島一成（s61年度中国語学科）yichengjp@yahoo.co.jp

硬式庭球部

山本正太　h14年度英米語学

硬式庭球部では2014年1月18日、烏丸の料亭にて2014年卒業生の追いコンを開催。OB9名が参加、現役15名と会話を楽しんだ。他活動としては5月の新歓コンパ、8月のOB戦を開催。すべて現役を交えての開催で、現役と共に過ごします。

現役からの案内もありますが、案内が通年届かない、参加希望のOB・OGの方がいらっしゃる場合は山本携帯090-9880-4408迄ご連絡をお願いいたします。

アメリカ民謡研究会 創部50周年記念の会のご案内

「皆さ～ん！歌い、語りましょう。」

日時●2014年11月2日（日）　午後1時～5時
場所●京都外国語大学11号館2F　ラウンジ
会費●1万円
初代会長　後藤悦治郎

アメリカンフットボール部　山村修史　h2年度短期大学

京都外国語大学体育会アメリカンフットボール部が創部40周年を迎えました。

2013年7月27日、大阪の「ホテル阪神」に於いて、OB・OG40人、顧問の堀川先生、校友会からのゲストおよび関西アメリカンフットボール協会の役員が集結して、盛大なOB・OG総会と40周年記念パーティーを開催しました。

当日は懐かしい顔ぶれで、日頃なかなか会う機会のないあらゆる世代のOB・OGたちと現役学生らで会場は笑いの絶えない和やかな雰囲気でした。

チームグッズの販売や各年代の面白エピソードなど盛り沢山のパーティーでした。次回は45周年を目標に益々の飛躍を誓いました。

少林寺拳法部　黒田政人　s56年度英米語学科

昨秋10月19日、少林寺拳法部創部50周年記念式典を本学にて開催致しました。

森田理事長・総長、松田学長はじめ本学関係者、校友会諸氏、空手道部や他クラブOB諸氏、少林寺拳法連盟本部および京都の10大学、大阪・兵庫の3大学の少林寺拳法部OB会長など来賓50名と海外や全国からOB100余名が集う中、式典は厳かに進行しました。準備期間6年。急逝した物故者17名の魂が人々を呼び集め、彼らも懐かしい学び舎で、参加者と触れ合ったことでしょう。全国800大学中13番目の創部という歴史ある我が部。多くの方々に支えられ、汗と血に塗れ、連綿と引き継いだ50年。京都外国語大学のサムライここに有り。良く整えし己こそ、まこと得難き寄る辺なり。

能楽部　鴨川愛子　h16年度英米語学科

第50回記念外大能（h25年12月8日　於：河村能舞台）

平成25年12月8日、OB会共催第50回記念「外大能」を盛会に終えました。私たちは、毎年この舞台を最大の目標に掲げ活動をしています。

学生のクラブ離れの中、会の開催が大変な年もありました。

そんな時こそ現役とOBが力を合わせ、1回も休まず50回記念の佳年を迎えることができました。

同じ目標に向かって練習を共にし、愚痴を言い合い、笑い合い、涙する。現役が、困った時は手を差しのべたいと想うOBの親心。こんな家族のような関係が良い舞台を作り上げるのだと思います。

OB会は経済的に、また一緒に舞台に関わりながら現役部員との絆を深めています。この絆が、来年の舞台に、そして100回記念という次の記念会へと続いていくと信じています。

卓球部

中辻政明　s43年度英米語学科

第５回卓球部ＯＢ総会を２年振りに、2013年５月11日（土）～12日（日）、琵琶湖畔「白浜荘」で開催しました。参加したＯＢ諸氏のほとんどが、卒業後も卓球を愛し現在も各々地域で現役プレー続行中で驚くばかりです。

当日はシングルス戦総当たりで心地よい汗をかいた後、懇親会場に移動し、楽しい夜を過ごすことができました。翌日はダブルス戦総当たりで、年の差を忘れて、皆さんよく頑張りました。次の第６回（創部55周年記念）ＯＢ総会は2014年５月開催予定です。

自然科学研究会

辻　雅敏　s51年度英米語学科

同研究会OB会が平成25年５月18日、四条大橋西詰の「東華菜館」にて開催されました。昭和43～56年度卒業生が、東京から広島の各地より参加しました。現状報告の中では近畿の山で鉱物研究をされている方、天文の研究を続けてタブレットで報告される方、他にも研究を継続されているOBも少なくありませんでした。さらなる絆を深め、来年５月のOB会での再会を約束して解散いたしました。今後は毎年５月に開催予定です。皆様の参加をお待ちしております。

海外事情研究会

池田光志　s43年度英米語学科

全国の大学の中南米研究・海外移住・海外雄飛を夢見るクラブが加盟する日本学生海外移住連盟（学移連）OB会第３回年次大会が平成25年６月16日（日）、神戸市中央区「海外移住と文化の交流センター」で、全国22大学90余名のOBが参加して開催されました。

海外事情研究会OB会は学移連OB会の有力なメンバーです。

大会には海外事情研究会OB、校友会有志、及び海外事情研究会現役学生が参加して大会を盛り上げ、参加大学OBとの交流の輪を広げました。

貿易研究会

植松宏行　s43年度英米語学科

本年、OB・OG会創設から節目の５年となります。

100名を超す会員の中には、家族と温かく老後を楽しむ先輩諸氏、鬼籍入りされた会員、古稀過ぎても現役で活躍中の方々それぞれです。年齢差異はあっても縁あって、学生時代クラブで共に学んだ仲間が年に一度こうして集い、当時を懐かしむ至福の時を味わっております。元気に今日を迎え、感謝しながら継続的に集い、旧交を温めています。

2014年は11月８日（土）に開催致します。みんなで協力し、大いに盛り上げ、新たなエネルギーを掻き立てましょう。多くの仲間を誘い、奮ってご参加ください。

ローターアクトクラブ

神谷昌明　s55年度英米語学科

第２回ローターアクトクラブOB・OG会の総会及び交流会を10月26日（土）、大学内で実施しました。

京都外大RACは1968年に京都西ロータリークラブ提唱により設立された、大学を基盤とするクラブとしては全国で２番目に古く伝統のあるクラブです。

現役学生との交流会では、現役学生による企画、OB・OGによる企画などで大いに場は盛り上がり、親交を深めることができました。参加者数はOB・OG、校友会役員、現役学生を含めて総勢36名でした。

スペイン語学科

相良一郎　s51年度スペイン語学科

スペイン語学科創設50周年記念
同窓会開催

2013年11月23日（土・祝）、創設50周年記念（第６回）同窓会を森田記念講堂・11号館ラウンジにて開催。来賓として森田嘉一理事長・総長、駐日スペイン大使ミゲル・アンヘル・ナバーロ閣下、坂本校友会会長他役員、松田学長、同窓生109名、教職員、学科在学生で、創設50周年を祝いました。

式典では、物故者への黙祷、木下学科同窓会会長挨拶、森田理事長・総長並びに駐日スペイン大使からご祝辞を賜りました。

イベントでは、卒業生八木啓代さんの『ラテン音楽の調べ』、フラメンコ部の演舞等を鑑賞し、同学科の懐かしい映像で、50年の軌跡を振り返り、参加者の感動を誘いました。記念撮影の後、懇親会では、学生時代の思い出話に花を咲かせました。

最後に、新会長・高杉政一氏の挨拶があり、再会を約束し閉会しました。

平成25年度　校友会事業報告、会計報告

主な行事

H25年

5月19日㈰	第8回会長杯ゴルフコンペ 〈名神竜王カントリー倶楽部〉
6月10日㈪	奨学金授与式（外国語学部）
6月29日㈯	大学との交流会〈京都ロイヤル＆スパ〉
7月　1日㈪	会報発行
10月　6日㈰	第26回総長杯ゴルフコンペ 〈名神竜王カントリー倶楽部〉
11月11日㈪	奨学金授与式（留学生別科）

H26年

1月20日㈪	第3回　輝く星奨学金授与式
1月25日㈯	新年会〈京都ブライトンホテル〉
2月15日㈯	各クラブＯＢ会連絡会

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

支部総会・懇親会等

H25年

京滋支部	4月14日㈰	日中文化交流〈からすま京都ホテル〉
韓国支部	6月22日㈯	第2回総会・懇親会〈POOM SEOUL〉
東京支部	7月　6日㈯	第25回総会・懇親会 〈ANAインターコンチネンタルホテル東京〉
和歌山支部	7月　7日㈰	総会・懇親会〈サロン・ド・ブレスト〉
鹿児島支部	8月　3日㈯	第6回総会・懇親会〈ホテルユニオン〉
教志会	8月　4日㈰	英語授業実践報告会・研究会〈大学内〉
福井支部	8月11日㈰	設立総会・懇親会〈福井アカデミアホテル〉
徳島支部	8月14日㈬	第21回総会・第19回外大連（阿波踊り）〈ホテルクレメント徳島〉
富山支部	8月24日㈯	第10回総会・懇親会〈とやま自遊館〉
京滋・大阪支部	9月22日㈰	合同支部総会・懇親会〈大学内リブレ〉
Club HAT's	10月　9日㈬	第21回総会・懇親会〈大阪　BELLONA〉
Club HAT's	11月　9日㈯	HAT's セミナー
兵庫支部	11月17日㈰	設立総会・懇親会〈神戸メリケンパークオリエンタルホテル〉
和歌山支部	12月　8日㈰	第20回ジョン・ケンドリック杯 スピーチコンテスト〈串本町文化センター〉

H26年

福岡支部	3月　1日㈯	講演会・総会・懇親会 〈ワールドオブワインズヨシヤ〉

平成26年度　校友会事業計画

H26年

4月　1日㈫	入学式（大学・短期大学）	
2日㈬	入学式（大学院）	
19日㈯	京滋支部（文化講座）〈からすま京都ホテル〉	11:30～
5日24日㈯	第9回高知支部総会〈ホテル日航高知旭ロイヤル〉	17:00～
6月　9日㈪	奨学金授与式（外国語学部）	
21日㈯	大学との交流会〈京都ガーデンパレス〉	18:00～
22日㈰	第9回会長杯ゴルフコンペ〈名神竜王カントリー倶楽部〉	9:22スタート
28日㈯	第3回韓国支部総会	
7月　1日㈫	会報発行	
12日㈯	第26回東京支部総会〈東京プリンスホテル〉	12:30～
13日㈰	和歌山支部総会〈紀三井寺「デサフィナード」1F〉	11:00～
8月　2日㈯	第11回石川支部総会	
10日㈰	第2回福井支部総会〈福井アカデミアホテル〉	11:00～
14日㈭	第22回徳島支部総会　第20回外大連〈ホテルクレメント徳島〉	
23日㈯	教志会講演会・総会〈大学内〉	10:00～
9月19日㈮	9月学位記授与式	
10月19日㈰	平成26年度大阪支部総会〈グランキューブ大阪「グラントック」〉	
11月　9日㈰	第2回兵庫支部総会〈神戸メリケンパークオリエンタルホテル〉	14:00～
10日㈪	奨学金授与式（留学生別科）	
12月　7日㈰	和歌山支部（第21回ジョン・ケンドリック杯スピーチコンテスト）	

H27年

1月25日㈰	大阪支部互礼会〈グランキューブ大阪「グラントック」〉	
3月15日㈰	学位記授与式（大学院）	
20日㈮	学位記授与式（大学・短期大学）	

※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

校友会役員

会　長　坂本 利正（s42A）　会　計　中口 泰幸（s45A）
副会長　山田 勝明（s40A）　会　計　藤本 道治（s45A）
副会長　藤井 章子（s43A）
書　記　六島 祥伍（s38A）　監査役　長塚 純一（s38A）
書　記　山田良至子（s44F）　監査役　山本　勉（s46F）
書　記　島谷 直見（s51A）　監査役　長者 善高（大学事務局長）

クラブ・学科OB会（平成26年4月末までの連絡分）

[中国語研究会OB会]
5月3日㈯・祝 14：00～・17：00～
〈教授会議室・大学内ラウンジ〉

[卓球部創部55周年記念OB会]
5月17日㈯～18日㈰〈琵琶湖畔「白浜荘」〉

[剣道部OB総会・懇親会]
5月24日㈯ 16：00～・17：30～〈大学剣道場〉

[自然科学研究会OB会]
5月24日㈯ 17：00～〈大傳月軒〉

[ソフトテニス部OB会]
5月24日㈯ 10：00～〈外大第2分館〉親睦テニス
19：00～〈トーン京都〉懇親会

[空手道部ＯＢ会]
6月7日㈯

[能楽部OB会]
8月10日㈰〈ホテル杉長〉

[海外事情研究会OB会]
10月11日㈯ 13：00～〈大学内ラウンジ〉

[アメリカ民謡研究会創部50周年記念の会]
11月2日㈰ 12：00～〈大学内ラウンジ〉

[貿易研究会OB会]
11月8日㈯〈アパホテル京都祇園EXCELLENT〉

[能楽部「外大能」]
12月13日㈯〈河村能舞台〉

※詳細は各ＯＢ会にお問い合わせください。HPでもご案内しています。

[中国語学科創設40周年記念同窓会]
平成26年10月26日㈰ 12：30～15：00（受付12：00～）
〈本学　12号館1階「リブレ」(食堂)〉
会費：卒業生4,000円
(同伴者3,000円、高校生以下は無料)
プログラム：卒業生による古箏演奏、龍舞　など
※ぜひこの機会にご家族でご参加ください。
※お問い合わせ：china40th@kufs.ac.jp

校友会支部連絡先（国内支部）

※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

平成 26 年 5 月 1 日現在

東京支部	支部長	本山 裕彦	03-3941-1715
大阪支部	支部長	湯口 信壽	072-641-8007
京滋支部	支部長	古澤 昭人	075-722-7162
徳島支部	支部長	野村 誠也	0884-22-2552
富山支部	支部長	松平 秀人	025-552-6295
石川支部	支部長	安田 嘉昌	0761-24-6670
高知支部	支部長	柴岡 和生	088-841-1939
福岡支部	支部長	小林 利夫	092-844-3330
鹿児島支部	支部長	鬼丸　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長	佐武 正章	073-922-2311
福井支部	支部長	中野多郎右エ門	0776-53-2765
兵庫支部	支部長	松下　衛	078-731-5220
Club HAT's	会　長	田中 明彦	072-866-6710
教志会	会　長	田中 道博	075-501-9618

京都外国語大学校友会会報

ALUMNI NEWS No.29

平成26年(2014年)7月1日発行

発行人＝京都外国語大学校友会　会長　坂本利正

発行所＝京都外国語大学校友会

京都外国語大学校友会
〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地
TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220
http://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp